

6.全手術件数

臨床評価指標項目	2017(平成 29)年度			2018(平成 30)年度			2019(平成 31/令和元)年度		
	実数	割合	母数*1	実数	割合	母数*1	実数	割合	母数*1
全手術件数	9,039			9,411			1,0090		
精神科電気刺激療法を除いた手術件数	8,703			8,986			9,692(9,639)		
内) 入院症例の手術件数	8,803	97.4%	9,039	9,345	99.3%	9,411	9,854(9,801)	97.7(97.6)%	1,0090(1,0037)
外来症例の手術件数	236	2.6%	9,039	66	0.7%	9,411	236(236)	2.3(2.4)%	1,0090(1,0037)
内) 緊急手術件数	1,139	12.6%	9,039	1,183	12.6%	9,411	1,231(1,218)	12.2(12.1)%	1,0090(1,0037)
定時手術件数	7,900	87.4%	9,039	8,228	87.4%	9,411	8,859(8,819)	87.8(87.9)%	1,0090(1,0037)
手術技術度(外保連試案 D・E 難度)	6,504	72.0%	9,039	6,765	71.9%	9,411	7,176(7,126)	71.1(71.0)%	1,0090(1,0037)
精神科電気刺激療法を除いた手術件数に対する手術技術度(外保連試案 D・E 難度)	6,504	74.7%	8,703	6,765	75.3%	8,986	7,176	74.0(74.4)%	9,692(9,639)
重症入院患者*2の手術全身麻酔件数	756	8.4%	9,039	1,382	14.7%	9,411	1,503(1,490)	14.9(14.8)%	1,0090(1,0037)

◆ 手術室で施行された件数を表示しています。

*1 母数 全手術件数(入院症例の手術件数+外来症例の手術件数)

*2 重症入院患者 診療報酬点数表(医科点数表)に定義されている、心疾患、肺疾患、肝疾患、血液疾患、敗血症など麻酔が困難な患者

*3 2019 年度分より画像診断センターで行われる麻酔管理症例を含め計算。()は手術室エリア内での件数を示す。

解説

定時・緊急、入院・外来の比較は変化ありませんが、総症例件数は増加しています。

手術技術度が難度の症例割合は 2017・2018 年度と同様ですが、重症入院患者数の麻酔件数は著しく増加した 2018 年度よりもさらに増加しており、重症化に対応した上で症例件数の増加が認められ高度な管理を必要とする大学病院としての機能を担っています。